



梅雨明けした7月20日、明和幼稚園では夏祭りが行われました。園児たちに伝統行事に親しんでもらうことと、家族の交流を深めることを目的に毎年行われています。園児たちは、この日のために練習した踊りを披露したり、みんなで飾り付けたみこしを元気に担ぎ、夏祭りを満喫していました。園庭ではヨーヨーつり、室内では園児によるゲームも行われ、親子の歓声であふれていました。

## 元気にみこし担ぎ



社会を明るくする運動を展開している町更生保護女性会20人の会員は、駅前や街頭でチラシなどを配布して青少年の非行防止を呼びかけた後、代表の7人が7月1日、役場を訪れ、江原助役に「青少年の未来を考える『社会の母』からのメッセージ」を手渡しました。同会では「地域のかたがたと手を携えて、地域に根ざした様々な活動を展開し推進していく決意を新たにしています」と熱い思いを行政側に伝えました。

## 「社会の母」からメッセージ



中学生国際交流研修事業の壮行会が7月29日、恩田町長ら約40人が出席して役場会議室で開かれました。この事業は、豊かな国際感覚を身につけた生徒の育成が目的です。オーストラリアのコーロハイスクールへ派遣されるのは、10人の生徒と引率者の橋本課長、田沼教諭の2人。生徒代表の黒田香織さんは「強い友情関係が結べるよう努力したい」と述べ、生徒全員が国際交流への思いを、ひとりひとり語りました。

## 強い友情関係を結びたい